

## 宮城県地方税滞納整理機構における令和5年度の活動実績（上半期）について

平成21年4月に設置された宮城県地方税滞納整理機構では、市町村から徴収困難な滞納事案を引き受け、年度内での完結を目指して滞納整理を実施しております。

令和5年度上半期の活動実績は、以下のとおりです。

## 1 滞納整理実績

## (1) 徴収実績（本税ベース）

		令和5年度	令和4年度	増減
引受市町村数		22市町村	22市町村	—
引受	件数	512件	402件	110件
	税額	299,983千円	260,010千円	39,973千円
徴収額		85,422千円	67,522千円	17,900千円
徴収率（徴収額／税額）		28.5%	26.0%	2.5ポイント

## (2) 滞納処分の実施状況

		令和5年度	令和4年度	増減
搜索実施件数		4件	0件	4件
差押実施件数		81件	76件	5件

## (3) 完納状況（本税ベース）

		令和5年度	令和4年度	増減
件数		102件	91件	11件
税額		45,894千円	42,004千円	3,890千円
完納率（完納額／引受額）		15.3%	16.2%	△0.9ポイント

## 2 活動状況

## (1) 市町村職員への徴税ノウハウの定着と徴収技術のレベルアップ

- 元東京都主税局特別滞納整理担当部長を招き、市町村及び県税事務所の徴収担当係長級を対象とした研修会を開催し、滞納整理の手法とマネジメントについて講義をいただきました。
- 県税事務所主催の研修会に機構職員を講師として派遣し、市町村及び県職員を対象とした滞納整理についての実践的な講義や実技を行いました。
- 機構職員の徴収技術の向上を目的として、毎月室内研修を実施しました。

## (2) 実践的な研修の場の提供

- 搜索や差押えを市町村職員と合同で実施するなど、実践的な経験の積み重ねにより職員のスキルアップを図りました。

## (3) 県と市町村との連携強化

- 県税事務所が主催する「個人住民税徴収対策会議」に出席し、市町村との情報交換を図りました。
- 事案ごとに市町村と連絡を密にし、協力して滞納整理を進めるなど、市町村と県の連携の構築に努めました。

## (4) 適切な事案処理

- 法令に基づく滞納者の資力・財産調査を適宜、適切に行うとともに、納税資力があるにもかかわらず自主納税が期待できない滞納者に対しては、毅然とした滞納処分による滞納整理を行いました。
- 資力・財産もなく著しい生活困窮にある滞納者に対しては、市町村と連携しながら、滞納処分の執行停止を含む法に基づく徴収猶予などの納税の緩和措置の適用を視野に納税相談などの対応を行いました。

## (5) 納税者の意識向上（広報の推進とマスメディアの積極的活用）

- 県ホームページに活動実績を掲載し、納税者の意識向上を図りました。